

# メモリアル かわら版

2009年 Vol. 3

発行

びわこメモリアルホール

栗東市林295-2

0120-440-075

## 葬儀アイテム紹介コーナー 第3回は【遺影写真】について考えます。

いつの時代から葬式に写真がつきものになったのだろうか…

浄土真宗の住職は、『阿弥陀さんが見えるように写真は左右どちらかにずらして下さい…』

お寺さんの立場から考えると、拝むのは阿弥陀さんであって写真を拝んでいるわけではありません。写真はなくても葬儀はできるといわれています。

しかし家族の立場から考えると住職には申し訳ないですが、祭壇の主役は「写真」なのかもしれません。

### 1 遺影写真の移り変わり (白黒写真からその方らしい写真へ…)

ひと昔前に葬儀をした遺影写真を見ると、白黒写真で故人の表情もかしまって正面を向いておられます。男性は紋付に、女性も着物に着替えているもの(合成写真)が多く見受けられます。

いまでもまれに『写真は白黒をお願いします。それから我が家の家紋を入れてください。』等少々古い考えの方もおられますが、おおむねカラー写真を希望されます。表情は笑顔のものが好まれ、服装はその人らしさがでたもの(いつもかぶっていた帽子姿やお気に入りの服等)を選ばれるのが多くなりました。

また遺影写真の定番だった黒いリボンもいつのまにか姿を消そうとしています。(弊社では完全に黒リボンの姿はありませんが…)

### 2 遺影写真の選びかた (自分で選ぶ遺影写真!?)

九州のある写真屋さんでは、「ご自分の遺影写真を撮る人が増えています」をキャッチフレーズに話題を呼び実際に撮っているかたも多いようです。このように自分で選んで決めるのが一番良いのかもしれませんが現実には難しいものです。顔の大きさが小指の第一関節以上で、ピントがあっていれば問題はありません。背景も自然な風景ならばそのまま使うことができます。他人が見たら「えー」って思う写真でも家族が見たら「最高!」と思える写真選びが大切だと思います。

写真が嫌いな方で、写真がない人は免許証や集合写真からつくることができます。

### 3 写真の値段っていくらくらい?

遺影写真、祭壇用電飾写真(電気を使った大きい写真)、キャビネ版の3点を用意する葬儀社が多いようです。弊社では祭壇セットに含めますが、遺影写真単品ですと12,600円です。

実際、2万円以上する葬儀社もあったなあ。びっくりです…。



## 映画 「おくりびと」 の実際

映画『おくりびと』が去年から今年にかけて大変注目を集めました。

我々葬儀業界のものにとっても世間の人に葬儀・納棺を知ってもらうきっかけになりうれしいかぎりです。まだ見ていないかたは、是非一度見て欲しいと思います。

映画『おくりびと』

監督 滝田洋二郎 主演 本木雅弘 広末涼子 山崎務 余貴美子 etc

内容は、チェロ奏者だった主人公（本木）が楽団の解散で、夢をあきらめて故郷に戻り、ひよんなことから葬儀社の下請けで納棺業をしている小さな会社に入社する。家族（妻・広末）には結婚式の仕事と嘘をつかなければならず、また友人からは偏見の目でみられながら、“死”をみつめる仕事に生きがいを感じていくという涙と笑いあいの「納棺師」を描いた映画です。

### 納棺師になるには…、納棺の仕事を実際やってみて…

納棺師になるには、自社で納棺業務をしている葬儀社に就職するか、映画のように納棺専門業者、もしくは湯灌（ゆかん）専門業者に就職することです。とくに資格はいりません。葬儀社に就職するにあたりとくに資格はいらないのです！！ただ平成8年から厚生労働省が認定する『葬祭ディレクター』という資格ができました。弊社では現在3名が『葬祭ディレクター1級』の資格を所有しております。

弊社の納棺は、湯灌専門業者に委託していますが、以前他の葬儀社で勤務していた時は、納棺の仕事もしておりました。自殺、事故、突然死等言葉では言い表せない数多くの遺体を見してきました。（悪い意味ではありませんのですみません…）

葬儀・納棺を通じてさまざまな遺族の心情に触れることができました。号泣する人、涙がとまらない人、ショックで何をしているかわからなくなっている人、動けない人もいます。それでも、目の前の故人から目をそらすことなく、遺族は旅立ちの準備をおこなっていかねばなりません。死による喪失から生じる深い心の苦しみを『グリーフ（悲嘆）』といいます。それを乗り越える悲嘆のプロセスのことを『グリーフワーク』いい、グリーフワークの最初の段階で大切なことは、故人としっかりお別れすることだそうです。不用意な勇気づけや励ましの言葉は必要でなく、遺族・知人がそれぞれ死を受け止めることができる**最初の儀式…それが納棺だ**と思います。

映画「おくりびと」では「納棺師」の夫の仕事が理解できない妻が『けがらわしい』といった場面がありました。葬儀・納棺等『死』に携わる仕事は『けがらわしい』ことではないのに、漠然とそう思っている人もおられます。葬儀・死に関する仕事は、お金に執着しているように思われがちですが、しかしそれだけで続けられるものではありません。『故人を見送る』ことに誇りを持っている人もたくさんいます。いままで何千人のかたを見送らせていただきましたが、これからもこの仕事誇りを持ち、事務的にならず頑張りたいと思います。

## メモリアルのおくりびと（湯灌の儀式）

湯灌（ゆかん）とは…故人の生前の疲れ・苦しみ・痛み等を家族の皆様と共に洗い清めるものです。赤ちゃんが生まれた時に産湯につかるように、新たに来世で生まれ変わって欲しいという願いもこめられています。

湯灌（ゆかん）の流れ（準備も含めて約1時間かかる儀式です）



- 1 家族の方に湯灌（ゆかん）の説明をさせて頂き、儀式が始まります。
- 2 家族の方に足元から胸元にかけて逆さ水によりお清めして頂きます。
- 3 スタッフがお体をシャワーで洗い清めます。
- 4 顔剃り、洗顔、洗髪を済ませ家族の方にお顔を拭いていただきます。
- 5 お体の処置を施し白い着物（白装束）に着替えて頂き、髪をセットし、化粧をほどこします。
- 6 御棺に安置し、お顔のまわりを飾ります。（はじめは、そこまでしなくてもよいとおっしゃった家族も後からしてもらってよかったと言っていたいております。）

**湯灌の雰囲気はわかっていただけたと思いますが、よくある質問をまとめてみました！！**

Q1・『何を用意したらいいのですか？』

タオル、せっけん、白い着物等すべて用意しますので、とくに何も用意して頂くものはないのですが、愛用の服があれば用意してください。（愛用の服に着せ替えさせていただきます）

Q2・『肌は他の親戚に見せたくないのですが…』

最後まで、大きなバスタオルをかけた状態でしますのでお肌を見せることはありません。

Q3・『湯灌の間は何をすればいいの？』

家族の手をわずらわせることなくしますが、化粧や着替えなど自分の手でしたい方は意向に添いますので申し付けてください。

Q4・『費用はいくらくらいかかるの？』

50万以上のプランにはプラン料金に含まれます。別途依頼の場合は、63,000円になります。

## 訪問しにくい葬儀社に来ていただき、感謝です！

第1号のかわら版で葬儀の事前相談の大切さを書いたところたくさんの方がホールに相談に来られました。葬儀の話題や雑談も含めていろんな話をお互いにし普段なかなか聞けない事もたくさん聞いていただきました。そのなかで多かった質問をとりあげてみます。(料金の質問も多数ありましたがホームページを参考にして下さい。)

### Q・『栗東に住んでいますが火葬場はどこになりますか？』

火葬場の指定はなくどこでも火葬できます。ただこの火葬場でも管轄外の扱いになります。草津火葬場ですと50,000円、野洲川斎苑なら70,000円の火葬料金が必要です。(草津火葬場で草津市在住の方は7,500円、野洲川斎苑で守山市、野洲市在住の方は22,000円です)

また栗東市から、火葬奨励金としてある条件を満たせば10,000円支給されます(在住1年以上等です)

### Q・『他の葬儀社に掛け金、積み立てをしているのですが使用できますか？』

メモリアルホールは、独自で経営・運営を行っているため他の葬儀社で積み立てられた会員証を使用することはできませんが、弊社ホールを利用していただく際には、費用面で配慮させていただきます。一言では書けず、いろんなケースがあるので詳しくは、事前に相談下さい。

第2号では、家族葬についてとりあげました。『家族葬で失敗しないコツ』や『家族葬で実際かかる料金？』等を尋ねにたくさんこられ、かわら版の目的だった『一般市民と葬儀社との高い壁』が少しずつではありますがとれてきたように感じ嬉しく思っております。来館者にもれなく渡して好評をいただいているオリジナルエンディングノートもまだ在庫がありますのでどうぞ気軽に来てください。

何かと闇につつまれた葬儀業界が少しでもオープンになるようこれからも努力していきます。まだまだ葬儀社を尋ねにくい方は、こっそりインターネット『びわこメモリアルホール』で検索してみてください。ホームページで詳しく載せております。

かわら版は、不定期・不特定に配布しています。みなさんの参考になれば嬉しいです。年齢、性別問わず読んでいただきたいのですが、私(アラフォー)より10歳ほど上のかたに特に読んでいただきたく思っております。『おくりびと』も感動しましたが『60歳のラブレター』も実によい映画でした。考えさせられます。熟年夫婦のかたは必見ですよ…。

葬儀の話題で気を悪くされた方、お許し下さい。

合 掌